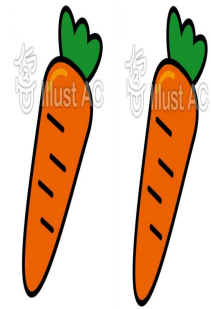


急告!

2015年 4月18日

J R 東海労新幹線関西地本
大阪第二運輸所分会

上田光博助役 の盗撮シリーズ



今回は、3月30日、16時35分頃から写真データ取消し責任者の今泉総務科長及び植西助役が上田助役から盗撮された東海労大二運分会の代表者である今田分会長立ち会いの下、現場（大阪第二運輸所）の総務科前の渉外室にてデータの取消しが行われた内容についてです。

今泉総務科長は、今田分会長に対し冒頭、謝罪も一切ないまま・・・

総務科長・・・「当日、上田助役が撮っていた2枚の写真を・・・」勝手に撮った2枚のデータを見せました。

今田分会長・・・「何の目的で、上田助役は写真を撮ったのか？」

総務科長・・・「ホームに広がっていて安全上問題はあるか、お客様から不快な感じはないか疑義があったので撮って、私に報告した。これを見て大丈夫だから不要なので削除することに・・・」

今田分会長・・・「ホーム上の安全を確認するといって、その場に管理者3人も来ていて確認している」

「データ消しても、写真はデジタルだからいくらでも複製が出来る。ここにある全てのパソコンを出して下さい」

総務科長・・・「それは出来ない」

今田分会長・・・「出してくれないとデータをこの場で消しただけでは信用できません」

「私だけでなし、久保木さんの家族、国労組合員、ユニオン組合員、西労組合員が写真に写っている。全ての代表者をしかるべき時、講習室なりに集めて、上田助役の謝罪と、来られない人については謝罪文、このデータを使わないという念書を書いてくれないと納得できない」

と話ししている最中に、総務科長は「消しますよ」と言い放ち、写したカメラのデータを消しました。

植西助役は、「肖像権は、写すだけでは発生しない。行使してはじめて権利が発生する」と言いました。さらに「謝罪なんかしません。出て行って下さい」と全く不誠実な態度でした。

撮られる側に無許可で撮り、「消したから問題なし」の傲慢な姿勢を許すことは出来ません。

また、管理者3人がホームにいて安全確認しているのを、後で写真判定とは本当に安全に対する意識があるとは思えません。ただ、「上田助役の盗撮」の苦し紛れの弁明にしか思えません。

さらに、3月26日当日、森田ユニオン関西
地本委員長が・・・・・・・・！！

次号につづく